

2021 吃音指導講座

茂君の「ジャックと豆の木」の音読での楽な発語の状況は？

【課題記入用紙】

共調発語指導で目標とする発語の状態は、音読であれフリートークやプレゼンなどの発話であれ、楽な発声から得られる楽な発語です。

例えば、強いブロックで、奇異な随伴動作の伴う吃症状が認められる場合であっても、「さかな」を発語するとき、語頭の「サ」に出現した吃症状が、「カ」にも「ナ」にも出現することはとても稀です。また、語頭に出現しないで、「カ」や「ナ」に出現するのもとても稀です

特に、小・中学生の場合、語頭や文頭、つまり、「サ」に吃症状が出現したとしても、次の「カ」や「ナ」の発語は、喉の力みの無い楽な発語になっていることの方が多く観察されます。

ですから、共調発語指導では、発語指導上、「非流暢性の状態」よりも『楽な発語の状態』の把握をポイントに発語を観察します。

そして、その『楽な発語の状態』を維持した状態で、音読やプレゼンの練習を行います。

下記の図は、『共調発語指導の基本原則や基本的な指導方法』をまとめたものです。

共 調 発 語 指 導

◎ 吃音の本質的な問題の一つである『非流暢性（吃症状）』に対する直接的な指導

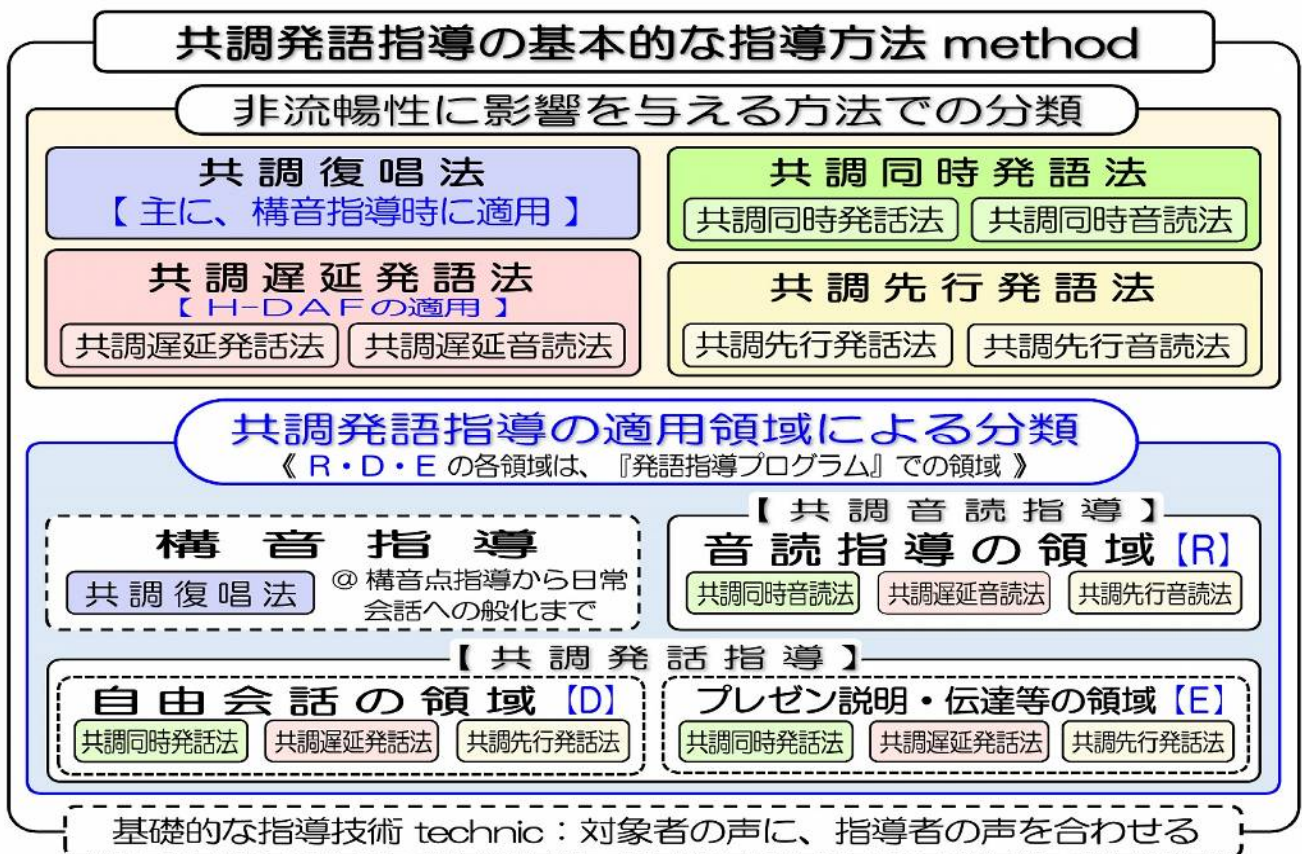
- 共調発語指導は、指導者が、話し手や読み手の「楽な発語の状態」を把握しながら、話し手や読み手に「楽な発語」が生起するように、指導者の発語をコントロールすることにより、「楽な発語を促す」ことで、非流暢性（吃症状）を抑制していきこうとするものです
- 指導者の発語をコントロールすることで得られた『即効性のある一時的な効果』を『持続可能な効果』へ変換していくプロセス（指導）を『共調発語指導』といいます

共調発語指導の基本的な指導方法 method



基礎的な指導技術 technic：対象者の声に、指導者の声を合わせる

また、下記の図は、『共調発語指導の基本的な指導方法』について「非流暢性に与える方法での分類」及び「共調発語指導の適用領域による分類」から、まとめたものです。



実際の指導での『共調発語指導の基本』は、以下の2点です。

- ① 『音読指導の視点になる楽な発語での音読』になっている“単語や句”を即座に聞き分ける、把握することができる【**午前の演習**】
- ② 把握した『楽な発語』が持続するように、**指導対象者の声に**『指導者自身の声を合わせる』ことができる【**午後の実技**】

ですから、共調発語指導では、『側音化構音に対する指導で、構音時の“顎の偏位や舌の膨らみ”等々に対する指導を行わない（関心を持たない）方が、楽しく効果的に指導ができる』のと同様に“どのような非流暢性か、どのような随伴動作が生起するのか”に関心を持つ必要はないのです。

1日だけの講座で、習熟することは困難です。ですから今回は、こんな指導法もあるのだとの体験をしていただければと考えています。

指導の参考に、下記の指導をご覧ください。

※ 「声が出ない」ということ・「声が出る」ということ

— 小学5年生綾乃さんの音読指導から —

◎ 吃症状に対する共調音読指導の『即効的な効果』：小学3年生由加さんの場合

☆ 共調音読指導の紹介：小学3年生由加さんの場合【本編】

◎ 吃症状に対する共調音読指導の『即効的な効果』：大学4年生小梢さんの場合

☆ 共調音読指導の紹介：大学4年生小梢さんの場合【本編】

下記の指導事例の児童が、課題のモデルになった小学5年生の茂君です。

◎ 吃症状に対する共調音読指導の『即効的な効果』：小学5年生茂君の場合

☆ 共調発語指導の紹介：小学5年生茂君の場合【本編】

【課題記入用紙】

< 課題 >

共調発語指導では、指導上、「非流暢性の状態」よりも『楽な発語の状態』を把握することをポイントに発語（音読）の状態を観察します。以下の音読の結果は、茂君の吃音音読検査「ジャックと豆の木」の連続5回音読での5回目の音読です。

_____ は、比較的楽な発語で音読をしている箇所を示しています。その中でも、茂君の音読指導上、特に『音読指導の視点になる 楽な発語での音読』の状態と考えられる番号を16箇所選んで、好きな印をつけて下さい。

- A 01 むかし 02 あるところにジャックという男のこが 03 いました。
- B ジャック 04 のうちはおとう 05 さんがなくびんぼう 06 07 でしたので
- C ジャックはがっこうへ行くことも 08 できませんでした。
- D とうとう 09 うちにはパンも 10 なくなり牛 11 が 12 いっぴきいる
- E 13 だけに 14 なってしまったのであるとき 15 おかあさんが
- F 16 ジャックに 17 いいました。「まちへ 18 行ってこの牛を
- G 19 売っておいで、そして、そのおかねでパンやおまへの
- H くつやズボンを 20 21 買いましょう。」 ジャックが牛を 22 つれて
- I げんきよく 23 まちを 24 あるいていると 25 ずっとむこうのほう
- J からひとりのおじ 26 さんがフラフラと 27 28 やってきました。
- K 「29 どうだねぼうやその牛とこの 30 31 豆をとりかえないかね。」と
- L おじさんが 32 いいました。みるとそれはたいへんきれいな豆
- M 33 でしたのでジャックは 34 むちゅうでとりかえて 35 36 しまいました。